

予備校名					
チェック	予備試験講座を選ぶ際にチェックすべきポイント			メモ	
	費用面	受講費用	無理のない範囲で、支払い方法も要確認		
	受講スタイル	通学 or 配信 or オンライン	コロナでオンライン受講スタイルがトレンドとなったが、原点回帰で通学のメリットもしっかり考えたい。講師にすぐに質問できる環境は有益。		
	講座内容	総講義時間	月単位・週単位・日単位で逆算して勉強スケジュールを立てるため		
		受講(視聴)可能期間	期間内に受講(視聴)期限が過ぎて講義が未消化となることを防ぐため		
		延長	勉強スケジュール通りに進まず未消化講義が発生した場合の対策ができるか		
		配信スケジュールと自分のスケジュールのマッチ	完全オンライン授業ではない講座の場合は、配信スケジュールがタイトなケースもあるので自分の勉強スケジュールと合わせ講座が消化しきれない可能性もあるので注意		
		論文添削数	多いほど練習になるのでgood!		
		講義画面の見やすさ・使いやすさ	倍速機能は絶対欲しい。最近は各社使いやすさにこだわりあり		
		担当講師の実績・講義のわかりやすさ	勉強は長期戦! 担当講師の話方、講義のわかりやすさは? 無料講義でチェックしよう		
		模擬試験	予備校により特徴が異なるので何社か受験したい		
		過去問	過去問の解説がわかりやすいか、重要度ランキング有無、紙質		
		法改正時の対応	法改正の際、使用教材のアップデート対応は万全か		
		単発講座	苦手分野の克服対策に。		
		マンツーマン指導の有無	近年のトレンド? 割と費用は高めなので費用対効果が得られるカリキュラムかどうか見極めが大事		
		スキマ時間対策	書籍販売	予備校独自の関連書籍やテキストのみの販売有無	
			アプリ	スキマ時間に使える! 短答アプリは資格スクエア「短答攻略クエスト」がおすすめ!	
	司法試験対策	司法試験対策講座の有無	予備試験合格後に行う司法試験対策講座があるか?		
	サポート	受講生サポート	勉強の悩みや質問などのサポートが可能か(対面・オンライン・メール・電話)。また、質問に対する回答までの期間は長すぎないか?		
	特典・経済的なサポート	奨学生制度	予備校によってはかなり割引になるので試験日など要チェック!		
		教育訓練給付金制度	予備校による。諸条件を確認しよう		
		合格お祝い金・返金制度の有無	合格すると数万円もらえることも('ω')、予備試験・司法試験に合格すると受講料全額返金制度や割引クーポンがもらえるなど各予備校で異なるのでチェックしよう!		
		割引キャンペーンなど	各予備校秋～冬にかけてアウトletsaleや早期割引を行うのでこの時期に始めるのがおすすめ^^		
	実績	合格実績など	社会人の合格実績はあるか? 合格インタビューにも目を通すとイメージが掴みやすい。自分の属性(社会人? 学生? 主婦?)に関する実績をチェックしよう。ホームページ上の合格実績の中に模試だけしか受けていないのにカウントされているケースもあるので要注意。		

2023.12.6

皆様の合格を心から応援しています!